

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和6年度) 2024年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	7	2	火	8:00	11:00	藤金市民の森	9名
活動名称	藤小3年生の新体験学習の支援						報告者: 小澤邦彦

1. 活動目的

藤小の3年生の自然体験活動への支援は、2016年から始まり、今年で9年目になります。

私達が清掃活動をしている藤金市民の森は、小学校に近接しており、大谷川、樹林地、竹林で校正され、多様な活動が可能な市民の森です。

鶴ヶ島市内の森を子ども達に残したいという目的を示現するには、次の世代の子ども達に森の大切さを体験してもらう事が重要との事で、取り組んでいる活動です。

2. 活動内容ほか

本年度はできる限り、子ども達の興味を中心に森のことを考えてもらうため、3組み、84名を9つの班に分けて藤金市民の森を案内する事としました。

今年は、会員それぞれの森に対する思いを、子ども達に伝える事を目的として、森の案内をしてもらいました。

又、後半は、子ども達が森の中で、何かを発見してもらう事を目的として、自由時間として、森の中を探検してもらう事としました。

子ども達は森の中で、色々な植物や生きものを見つけて、森への興味を持ってもらいたいと思っています。子ども達は、生きものが大好きな様で、森の中をかけずり回り、虫や生きものを探してみたり、切り株をしげしげと見つめ年輪を数えている子ども、数えた木より太い木を見て、30年から40年も前からここに生えているんだなあーと感心している子ども、川に入りたいと水辺で遊ぶこども、竹林で『かぐや姫』はどんな竹から生まれたのかなあーと質問され、一瞬、答えに困るスタッフ、子ども達の興味は様々で、楽しく森の中を探検していました。子ども達に森の中で色々な発見をしてもらい、何故こんなに沢山の生きものがあるのかを考えてもらえればとの思いです。

3. 評価:

今回は、子ども達が森の中で、沢山の発見と疑問を持って欲しいと思いましたが、子ども達の多くの興味にどのように対応していけるかが課題です。

目的は、森は足り強い、面白い、大切だという記憶が残れば、成功と思いますが、本日の成果は、次回にどのように報告されるかと思えます。

4. 課題

森での楽しさや大切さ等、森での思い出が残り、大切にすることの理解。

大人もなかなか理解しないテーマですので、どんな取組をしたら良いか、皆さんの提案をお願いします。次回の活動に反映していきたいと思えます。

<里山参加会員>

小澤邦、吉井、石川、柳川、小嶋、小澤弘、杉山、松下、(島崎)、 集合写真無し

<活動写真>

